

美しい祈りの島「小豆島」で 小豆島八十八ヶ所霊場を巡る旅 vol.9 ～天然記念物「巨大シンパク」に出会う編～

こんにちは。井上誠耕園の広報担当・斉藤です。

小豆島で暮らし始めて7年。この夏、ずっと気になっていた「小豆島八十八ヶ所霊場巡り」に挑戦してみることにしました。小豆島を自分の足で歩き、祈り、改めてみつけた島の魅力をお伝えしていきます。



夏の歩き遍路は暑さに要注意！

■てくてく歩いてみつけたもの

多聞寺を抜けてたどり着いたのは、第七十四番札所「円満寺」。



▲によきによきと枝葉を広げた巨木に遭遇！

到着してびっくり！巨大な樹が入り口にそびえ立っていました。

こちらは、小豆島・土庄町指定の天然記念物「円満寺の真柏（シンパク）」です。

島内2番目の樹齢約400年を誇る巨木は、近くで見ると物凄い迫力です。



▲第七十四番札所「円満寺」。青々と茂る木の葉に夏の訪れを感じる、素敵なお寺でした！

円満寺を出ると民家に囲まれた田舎道を抜け、第四十九番札所「東林庵」に到着。



▲フェンスにこっそり道するべ



▲第四十九番札所「東林庵」(とうりんあん)

続いて、はにわ(?)のような可愛い置物があるお庭の横を通って、第五十番札所「遊苦庵」をお参りしました。



▲やあ、こんにちは！



▲第五十番札所「遊苦庵」(ゆうくあん)

■「巨大シンパク」との出会い

そして今回一番楽しみにしていた第五十四番札所「宝生院（ほうしょういん）」に着きました。



宝生院の境内には、第五十一番札所「宝幢坊（ほうどうぼう）」・第五十二番札所「旧八幡宮」・第五十四番札所「宝生院」の3か所の札所があり、とても広い敷地があります。

私が楽しみにしていたのは、ここには円満寺と同じく、巨大な「真柏（シンパク）」と呼ばれる、天然記念物の樹木があるからでした。

その巨木の存在は、宝生院の近くまで行けばすぐ分かり、写真に納めるのが大変なほどの大きさです！近くに行くと首が痛くなるくらいの、あまりの巨大さに圧倒されます。



▲写真だと伝わりにくいですが、ものすごく大きいです！

日本最大の真柏（シンパク）と言われる宝生院のシンパクは、シンパクの中では唯一、国の特別天然記念物に指定されている、大変貴重な樹木です。

何と、応神天皇の手植えによるものと伝えられており、樹齢は1500年以上と推定されています。

木の高さは24メートル、幹の周囲は16メートルもあり、これぞまさに“仏が宿る木”！といわんばかりの幽玄さ。



▲悠久の歴史を感じる木の幹 (写真/芥川仁)

さらに驚くことに、このシンパクには3匹の聖獣が住み着いているというのです！

まず1匹目が「龍」。

天に向かい、幸せをつかみに行く昇り龍と言われ、日本では水を司る神とされているそうです。



▲鋭い龍の目が見えるかな？

そして2匹目は「象」。

お釈迦様誕生の際、母である摩耶夫人は6つの牙を持つ白い象がお腹の中に飛び込んできた夢をみて懐妊したとされ、とても神聖な動物です。



▲優しい目とシュッと伸びたお鼻！

3 匹目は「亀」。

鶴は千年、亀は万年と言われるように、長生きの縁起物とされています。



▲実家で亀を飼っているの、恐れ多くも他人とは思えない横顔

1500 年以上もの長い年月をかけて自然と浮かび上がった動物たちの姿に、とても神秘的なパワーを分けさせていただきました。

いつか皆さんにもぜひ一度、ご自身の目で見ていただきたいです。

■伝説が残る「行者堂の大岩」

宝生院を後にして、小豆島霊場内唯一の「馬頭観世音」がご本尊である第五十五番「観音堂」と、「行者堂の大岩」伝説がある第五十六番札所「行者堂（ぎょうじゃどう）」を巡り、小豆島霊場総本院まで歩いて、2 日目のお遍路は終了しました。



▲第五十五番札所「観音堂（かんのどう）」



▲第五十六番札所「行者堂」の大岩

「業者堂の大岩」は、裏山から 3 メートル立方の大きな岩がゴロゴロと物凄い速さで落ちてきた際、空海さんがちょうど通りかかって、手に持っていた錫杖（しゃくじょう）を岩にかざして念仏を唱え、ぴたりと止めたという言い伝えがあるそうです。（空海さんパワー、おそろべし！）

■おまけ

2 日目のお昼ご飯は、小豆島の肥土山で長年地元民に愛されている商店「おかだや」さんの新鮮なお刺身をいただきました！

お魚が新鮮！美味しい！そして安い！！と評判の「おかだや」さんは、とても味のある昔ながらの商店で、大型スーパーやコンビニが近くにない肥土山集落の人々にとって、とてもありがたい存在です。



▲身がぶりっぷりの新鮮なお刺身！お店の前のベンチで食べさせてもらいました。

お遍路中のお昼ご飯はどうしてるの？という質問を時々いただくのですが、基本は握ったおにぎりを持参して座れる場所をみつけて食べています。

しかし時々地元ならではの店の味をいただくのも、楽しみの一つ！

「おかだや」さんはコロッケもとっても美味しいそうで、この日は販売していなかったのが食べられなかったのですが、また買いに行きたいです。（日曜日以外の日に販売していて、予約もできます！）

井上誠耕園とは



瀬戸内海に浮かぶ香川県・小豆島は、古くから海上の要所として栄え、近年はオリーブの島として多くの観光客が訪れます。井上誠耕園はここ小豆島で昭和 15 年から三代に渡って農業を営んでいます。初代園主・井上太子治(たすじ)の時代から柑橘とオリーブを育て、平成 28 年にはオリーブ植栽 70 年を迎えました。現在は三代目園主井上智博のもと、約 170 名のスタッフが柑橘とオリーブの栽培から加工・販売までを一貫体制で行っています。